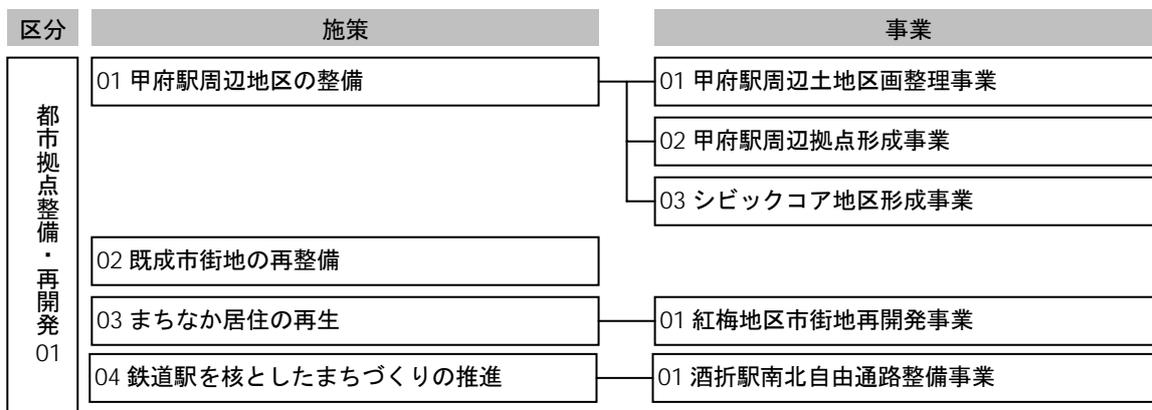


1 都市拠点整備・再開発

施策の基本的考え方

- 甲府駅周辺の大規模空閑地を活用し都市基盤の整備を充実し、新たな拠点施設の整備と企業立地の促進に努めます。
- 既成市街地において、住環境の改善及び安全なまちづくりの促進に努めます。
- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 鉄道駅と連携した学園交流の拠点づくりに努めます。

施策・事業の体系



01 甲府駅周辺地区の整備

■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.05010101】	担当部課係名	都市	甲府駅周辺整備課	ダイヤル	230-1029
		建設部	換地係・補償係・拠点整備係		

事業概要

- 旧国鉄操車場、貨物ヤードの廃止に伴う大規模空閑地を含む区域の基盤施設（道路・水路・公園、上下水道）を整備するとともに、優良な宅地を供給することを目的に区画整理事業を行う。
 - ・施行面積 21.9ha
 - ・施行期間 平成3年度～平成25年度
 - ・平均減歩率 18.63%

現況と課題

- 換地設計に基づく地権者の合意形成
- 物件移転交渉
- 企業立地の誘導

今後の事業展開

- 整備計画に基づき、事業の計画的、効率的な推進を図る

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19～21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
① 公共施設の移転率						
② 家屋の移転率	①2 ②32	①8 ②37	①11 ②42	①20 ②53	①38 ②63	① 38 ② 63
③ 仮換地指定率	③59	③71	③81	③91	③100	③100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19～21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	1,521,651		1,258,906	1,347,700	1,335,200	3,941,806

■甲府駅周辺拠点形成事業 【事業No.05010102】	担当部課係名	都市	甲府駅周辺整備課	ダイヤル	230-1029
		建設部	拠点整備係		

事業概要

- 県都甲府市の玄関口としてふさわしい利便性、安全性の高い交通環境へ改善するとともに、市民をはじめ観光で訪れる県内外の様々な人々が集い、賑わいのあるまちづくりを目指す。
- 歴史公園（6,039㎡）・駅前広場（3,658㎡）・多目的広場（4,827㎡）の整備及び中央消防署（1,633㎡）移転事業並びに（仮称）甲州夢小路（3,224㎡）の施行
 - 施行面積 25.5ha
 - 施行期間 平成15年度～平成21年度

現況と課題

- 住民協定を前提とした景観形成の合意
- 駅前広場、多目的広場（（仮称）よっちゃばれお祭り広場）を平成21年度に完成させるための総合スケジュールの確定

今後の事業展開

- まちづくり事業計画に基づき、着実かつ敏速な推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19～21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
① 多目的広場整備進捗率						
② 駅前広場整備進捗率	①3 ②3	①3 ②3	①52 ②3	①100 ②39	②100	①100 ②100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19～21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	177,100		115,000	327,776	190,448	633,224

■シビックコア地区形成事業 【事業No.05010103】	担当部課係名	企画部	計画調整課	ダイヤル	237-5741
			調整係		

事業概要

●地域の人々の安全で豊かな生活を支える官公庁施設と民間建築物等が連携することにより、そこで暮らす人々の利便性の向上や、関連する都市整備事業との整合が図れる等、総合的なまちづくりが可能な「シビックコア地区整備制度*」を活用し、都市活動空間とゆとり空間が融合した魅力と賑わいのある都市拠点地区の形成を目指す。

現況と課題

- 国の合同庁舎に関する整備予定の見直しによっては、遅延の懸念がある。
- 企業立地の誘導を進める。

今後の事業展開

- シビックコア地区の各街区が目指すコンセプトに合った整備誘導の促進を図っていく。
 - 1 各街区の整備促進
 - ・国の合同庁舎の早期整備を図るため、国との協議を進める。
 - ・山梨県との協議を進める。
 - ・NHK及び国鉄清算事業本部との協議を進める。
 - 2 シビックコア地区整備*推進連絡協議会の開催
整備計画の推進を図るため、また広く関係者の意見を求めるとともに、関係機関との調整を行う場としての連絡協議会を適宜開催する。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
シビックコア地区整備進捗率 (整備済み面積/8.1ha)%	7.0	17.0	22.9	27.4	40.8		40.8
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	231		231	224	224		679

03 まちなか居住の再生

■紅梅地区市街地再開発事業 【事業No.05010301】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤル	237-5829
			開発指導係		

事業概要

●老朽化した建物が密集する紅梅地区において、公共施設の整備と合わせ安全で快適な都市環境創出を目的に建設される商業施設、共同住宅、駐車場を備えた複合ビル建設事業に対し支援を行うものである。

現況と課題

- 事業計画の作成を行い、山梨県知事より事業認可を受けることとなった。また、「市街地再開発組合」が設立され、再開発ビルの実施設計や権利変換計画を策定している。
- 各権利者の市街地再開発事業への深い認識と理解が重要となる。また、埋蔵文化財発掘調査や地盤調査など予測しえない要素により、全体事業の期間が延伸する可能性も考えられるため、事業スケジュールの精度を高めることが重要である。

今後の事業展開

- 市街地再開発事業に向けての周辺環境が整えられたことにより、具体的な事業展開を推進していく。具体的には、権利者の生活設計を踏まえた権利変換計画策定を受け、山梨県知事の認可を目指す。また、老朽ビルの解体工事を進め、埋蔵文化財発掘調査の実施後に再開発ビルの建設に着手する計画である。なお、再開発ビルの概要は次のとおりである。
 - ・鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地価1階地上23階建
 - ・延べ床面積 約36,000㎡

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
事業費に対する進捗率(%)	0	5.9	17.0	31.4	45.4		93.8
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	264,300		499,300	1,109,600	1,517,800		3,126,700

04 鉄道駅を核としたまちづくりの推進

■酒折駅南北自由通路整備事業 【事業No.05010401】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル 7055	223-
		建設部	工事係		

事業概要

- 甲府市都市計画マスタープランに位置づけられた「学園交流拠点の形成」の一環として施工するものであり、酒折駅南北自由通路・酒折駅北口進入道路・南北駅前広場及び駐輪場を整備し、JR中央線で分断されている酒折駅南北の一体的土地利用を促し、地域の活性化を図る。

現況と課題

- JR東日本や山梨県などの関係機関と協議し、施工分担や管理区分を明確にしなければならない。
- 南北駅前広場整備工事施工に当たっては、南北自由通路新設工事と工程調整が必要となる。又南口駅前広場整備工事施工時は、仮設駐輪場が必要になる。

今後の事業展開

- 各年度のJR委託事業は、別途細目協定（年度別協定）を締結し実施する。
- 南口駅前広場整備に当たっては、山梨県と協議し、施工分担、管理区分を決め施工する。
- 平成20年度の事業完成を目指し整備を推進する。

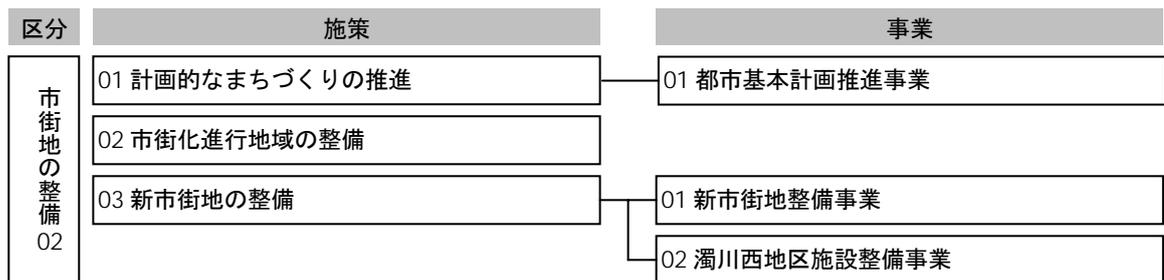
成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
進捗度(%)	40.8	53.0	79.6	100	—	100			
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計			
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	(H19~21)			
	298,200		198,000	355,557	—	553,557			

2 市街地の整備

施策の基本的考え方

- 都市計画マスタープラン*、土地利用計画を見直します。
- 地区計画*制度を活用し、地域の特性を生かした住民によるまちづくりを推進するとともに、適切な土地利用を図る民間開発の誘導に努めます。
- 面的整備によるまちづくりの促進と開発事業への対応に努めます。

施策・事業の体系



01 計画的なまちづくりの推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.05020101】	担当部課係名	都市	都市計画課	タ イ ヤ ル イ ン	237- 5814
		建設部	計画係		

事業概要

- 平成18年6月の第五次甲府市総合計画の策定に伴い、「甲府市都市計画マスタープラン」の見直しを行う。
- 景観法の施行を受け、本市の良好な景観形成に関する基本方針を策定する。
- 概ね5年ごとに県が義務付けられている都市計画基礎調査について、委託を受けて調査する。

現況と課題

- 「甲府市都市計画マスタープラン」は、今後の10年間の都市づくりの指針であるが、平成18年6月の第五次甲府市総合計画の策定に伴い、これに即するため見直しを行うものである。
- 平成19年度に「景観行政団体」の県同意を得るため、甲府市景観形成基本計画の策定を行う。
- 都市計画法第6条（都市計画に関する基礎調査）に基づき概ね5年ごとに行われる調査であり、平成19年度に実施される。

今後の事業展開

- 平成19年度に都市計画マスタープラン*の見直しとあわせて、都市計画基礎調査を実施する。
- 「甲府市都市計画マスタープラン」は、平成19年度を目途に策定を目指す。平成22年5月を目途に県が策定を進めている「甲府都市計画区域マスタープラン」において、広域的視点（都市計画区域の再編）及び根幹的視点（線引き制度の有無）に関する事項に差異が生じた場合には、速やかに見直すものとする。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
進捗度(%)	—	15	100	—	—	100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	0		21,852	—	—	21,852

03 新市街地の整備

■新市街地整備事業 【事業No.05020301】	担当部課係名	都市	都市計画課	タ イ ヤ ル イ ン	237- 5814
		建設部	計画係		

事業概要

- 良好なまちづくりに向けて、土地区画整理事業*の立ち上げや地区計画*の設定を行い計画的な市街地整備を進める。また、計画的なまちづくりを誘導するため「まちづくり研究会」の設立を促し、その活動への支援を行う。

現況と課題

- 快適な都市づくりを進めるためには、地域のまちづくりに積極的に取り組む住民協議の場（まちづくり研究会）づくりが必要であるが、現在その組織化が停滞している状況にある。

今後の事業展開

- 良好なまちづくりの手法として、土地区画整理事業、市街地再開発事業、地区計画及び景観計画等があげられるが、これらの具体化を図るためには、住民協働の場づくりの創出に努めるとともに、初動期の研修等の支援体制も強化していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
土地区画整理事業、 地区計画の設定箇所数	1	0	1	—	—	1
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	1,897		421	408	408	1,237

■濁川西地区整備事業 【事業No.05020302】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

- 平成 17 年度に市街化区域に編入した濁川西地区（74ha）内の地区施設として、区画道路（9 路線）・街区公園*（1 箇所）を整備し、良好な市街地整備を進める。

現況と課題

- 整備時期、整備順序を検討し十分な調整を行い用地買収にかかる必要がある。

今後の事業展開

- 区画道路*9 路線（L=2,510m）を市道として順次整備する。

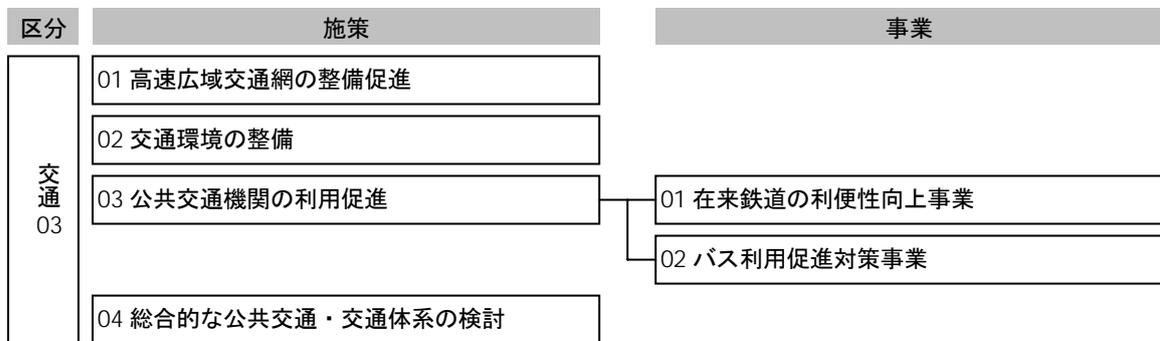
成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
進捗度(%)	0	5.0	13.7	21.1	30.9		30.9
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
	8,800		8,640	8,640	10,800	28,080	

3 交通

施策の基本的考え方

- 新たな国土軸*の形成による道路ネットワークの構築により、社会経済活動の変化に対応した地域活性化を図るため、高速交通網と地域高規格道路*の早期整備・促進に努めます。
- 市内中心部を通過する交通を排除することによる交通渋滞の解消を図るため、放射型道路と有機的に結ぶ環状道路の整備・促進に努めます。
- 在来鉄道及び路線バスの利便性を向上させるとともに、高齢者や障害者の日常の移動の手段として利用できる環境を整え、利用促進に努めます。
- 新時代に対応し、新たな交通システム*や既存の交通体系の連携改善により、新時代の交通体系を総合的に検討します。

施策・事業の体系



03 公共交通機関の利用促進

■在来鉄道の利便性向上事業 【事業No.05030301】	担当部課係名	企画部	政策課	ガイムン	237-5289
			政策係		

事業概要

- JR 中央線、身延線の利用促進を図ると共に、沿線地域の活性化を図るため、利用者の利便性向上、沿線他関係市町村の産業や観光の宣伝を行う。

現況と課題

- 協議会等において沿線地域の活性化に資する活動を展開中であるが、今後、中央線高速化に向けた取組が急務となっている。

今後の事業展開

- 在来鉄道の利便性向上のため、広域の関係自治体等と連携し、中央線高速化に向けた取組を強化する中で、沿線地域の活性化を推進していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
甲府駅及び酒折駅の年間乗車人員数合計(人)	5,932,710	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	18,000,000	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)	
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
	800		296	287	287		870

■バス利用促進対策事業 【事業No.05030302】	担当部課係名	市民生活部	総務課	ガイムン	237-5303
			交通安全係		

事業概要

- 生活交通であるバス路線を維持・確保していく。

現況と課題

- 赤字バス路線は赤字額が増大し、代替バス路線においては年々、経費が増大しているため路線関係市町村、バス事業者との協議の上、対応が必要である。

今後の事業展開

- 路線の必要性を検証・分析する中で、路線関係市町村と継続的に協議するとともに、利用促進のための PR に努めていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
補助金路線及び代替バス路線の延べ利用者数(人)	401,800	408,000	409,000	410,000	411,000	123,000	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)	
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
	79,945		55,475	55,475	55,475		166,425

4 幹線道路

施策の基本的考え方

- 広域交通網の整備やそれと連携する地域の骨格となる道路網の整備に努めます。
- 災害時の避難路・都市の景観やすべての人に利用しやすい道づくりに配慮した計画的な道路整備に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
幹線道路 04	01 広域・地域交通道路の整備	01 都市計画道路の整備事業（県施行事業の負担金）
		02 千塚三丁目羽黒町線整備事業（千塚工区）
	02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進	01 都市計画道路整備検討事業

01 広域・地域交通道路の整備

■都市計画道路の整備事業（県施行事業負担金） 【事業No.05040101】	担当部課係名	都市	都市計画課	タイム 237-5814
		建設部	計画係	

事業概要

- 本事業は、市の中心部を通過する広域的東西軸として、主要幹線道路を整備する。
- 事業対象の都市計画道路*愛宕町下条線は、現在、県施行事業として富士見工区、荒川渡河工区を施行しており、整備が完了する平成22年度には、甲府駅北口より甲斐市までの約4700m間（起点部分約120mを除く）が全線開通するので、市民の利便性が格段に向上する。
- 本線は、山の手通りのバイパス・中心市街地へのアクセス道路としての機能を受け持つ多機能道路に位置づけられる。

現況と課題

- 都市計画道路和戸町山宮島上条線との交差点において、100mについては、本線の工事に伴い工事を行うが、県立中央病院北側市道までの区間（約100m）についても県と協議を進めている。協議において、財政負担割合が課題となっている。

今後の事業展開

- 供用されることにより、市民要望に対し満足ある成果を達成することとなるので、今後も、着実な推進を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
荒川渡河工区(%)	33	48	64	77	90	90
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	450,000		347,500	225,000	225,000	797,500

■千塚三丁目羽黒町線整備事業（千塚工区） 【事業No.05040102】	担当部課係名	都市	都市整備課	タイム 223-7055
		建設部	工事係	

事業概要

- 本路線に隣接する千塚公園は、周辺に幹線道路がなく、開園すると交通障害の発生が予想されている。このため、地域交通環境の改善をすると共に、千塚公園の利便性を向上させるため本路線の早期整備を図る。

現況と課題

- 主要地方道甲府韮崎線と交差するため、道路管理者・交通管理者との協議が必要となる。

今後の事業展開

- 平成24年度の事業完成に向け、計画的に事業推進を図る。
 - ・準備期間（平成19年度） 補償物件調査・説明会等
 - ・実施期間（平成20年度～平成24年度） 用地買収・整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
路線整備率(%)	—	—	—	—	10.6	10.6
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	11,349		19,800	200,000	780,490	1,000,290

02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進

■都市計画道路整備検討事業 【事業No.05040201】	担当部課係名	都市	都市計画課	ガイムン	237- 5814
		建設部	計画係		

事業概要

- 県実施により、甲府都市圏の総合都市交通体系調査（パーソントリップ調査*）を実施する。
- 対象となるのは、3市1町の地域であり、各市町が負担金を分担支出するものである。
- 調査結果は、今後の都市計画道路*の整備方針や公共交通の整備体系の見直しの資料となる重要なものであり、平成16年度より準備を始め、平成19年度まで調査及び解析を行う。

現況と課題

- 効率的・効果的な道路整備

今後の事業展開

- 事業推進により、市民要望に対し満足ある成果を達成することができるので、着実な推進を図っていく。
- 対象となる路線の地権者の理解を求める。

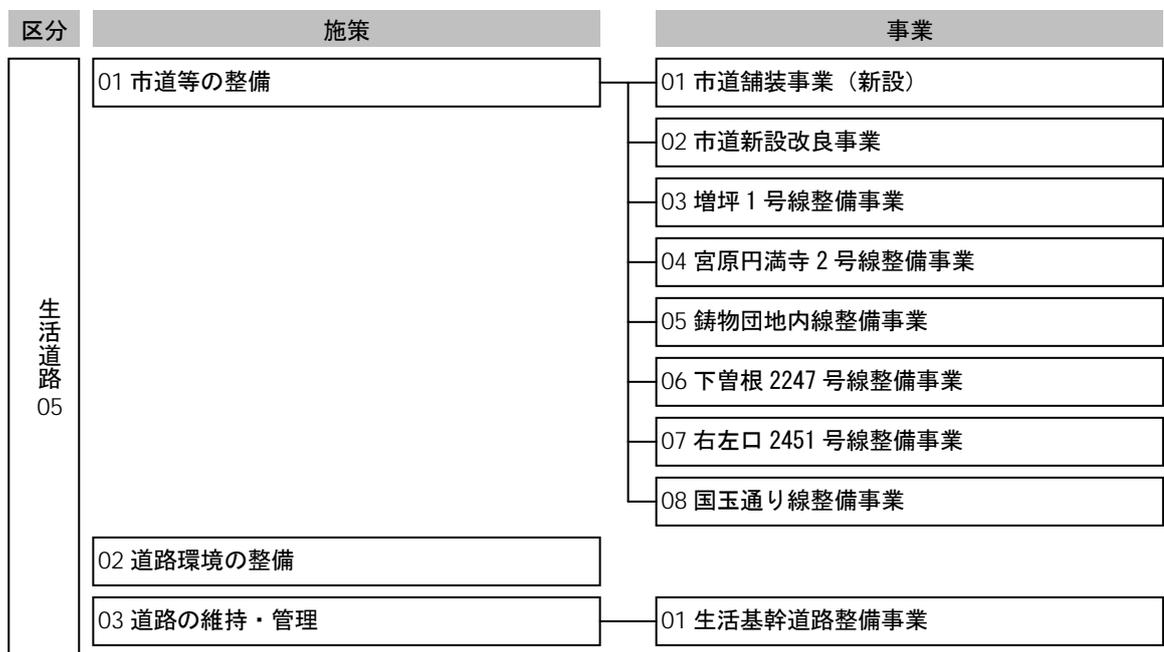
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	7,390		7,260	—	—	7,260

5 生活道路

施策の基本的考え方

- 地域の利便性を図るために道路整備を推進するとともに、交通安全や防災上から狭小道路の拡幅整備に努めます。
- バリアフリー化*・植栽・電線類の地中化*を推進し、人にやさしい道づくりに努めます。
- 市道の適切な維持補修、道路工事の適切な施工管理の推進、不法占拠の是正推進や里道等の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系



01 市道等の整備

■市道舗装事業（新設） 【事業No.05050101】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

- 市道の舗装新設をすることにより、市民生活の安全性と快適性の向上を図る。

現況と課題

- 道路改良工事と、工期等を調整する中で施工する必要がある。

今後の事業展開

- 市民や地域から要望された路線の中から、緊急度や費用対効果の高い路線を選択し、迅速な施工を行う。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
市道舗装率(%) (市道舗装延長/市道延長)	94.2	94.3	94.4	94.5	94.6		94.6
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	13,000		10,400	10,080	10,080		

■市道新設改良事業 【事業No.05050102】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

- 生活道路（市道）を整備し、地域環境の改善や交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 限られた予算内で、住民要望と事業効率の整合を図り施工路線を選定しなければならない。
- 市街地の路線は、補償費が大きく迅速な事業進捗は困難である。

今後の事業展開

- 市民や地域から要望された路線の中から、緊急度や費用対効果の高い路線を選択し、迅速な施工を行う。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
市道改良率(%) (市道改良延長/市道延長)	69.0	69.12	69.15	69.20	69.23		69.23
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	80,580		64,464	62,530	62,530		

■増坪1号線整備事業 【事業No.05050103】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

- 本路線は、甲府市東南部における幹線道路であり、市立甲府病院や小瀬スポーツ公園に集中する交通量を、国道20号と市道寺前線に分散させ、地域の交通流の円滑化や交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 一部用地取得が困難な場所がある。
- 道路改良工事施工に伴い、既存水路の復旧工事を施工するが、水路の構造・施工方法等について地元関係者との協議が必要となっている。

今後の事業展開

- 平成23年度の事業完成に向け、計画的な整備を推進する。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
路線整備率(%)	27.5	27.5	27.5	42.5	57.5		57.5
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)	
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	112,000		102,000	102,000	102,000		306,000

■宮原円満寺2号線整備事業 【事業No.05050104】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

- 本路線は、主要地方道甲府中央右左口線と市道宮原円満寺線を結ぶ幹線道路として整備し、地域内道路の渋滞解消、地域の有効な土地利用の促進及び交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 過去の経過により、一部地権者との用地交渉が困難となっている。

今後の事業展開

- 平成22年度の事業完成に向け、計画的な整備を推進する。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
路線整備率(%)	60.3	71.4	87.3	90.0	95.0		95.0
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)	
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	30,000		29,500	30,000	280,000		339,500

■ 鑄物団地内線整備事業 【事業No.05050105】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

- 国や県の事業と連携を図る中で、県内有数の渋滞発生箇所である国母交差点の渋滞解消と、地域交通環境の改善を目的に施工する。

現況と課題

- 国や県と連携し、短期間に事業完成を図り整備効果を出さなければならない。
- 短期施工となるため、用地交渉に困難が予想される。
- 国や県の事業と施工管理・工程管理等について綿密な調整が必要となる。

今後の事業展開

- 平成 21 年度の完成を目指し、国や県と連携する中で計画的に事業推進を図る。
 - ・ 平成 19 年度～平成 21 年度 用地買収・整備工事

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19～21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
路線整備率(%)	—	—	0	73.2	100		100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19～21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
	26,000		324,000	114,000	20,000		458,000

■ 下曾根 2247 号線整備事業 【事業No.05050106】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

- 本路線は甲府市南部に位置し、国道 358 号と国道 140 号を結ぶ市道で、車両交通だけでなく通学路としても重要な路線であることから、歩車道を一体的に整備し、交通安全性・快適性の確保を図る。

現況と課題

- 本路線の中間部にある間門川への橋りょう架設に当たり、県施工の間門川改修工事と整合を図るための協議が必要となる。

今後の事業展開

- 県施工の間門川改修事業と整合を図り、計画的に事業を推進する。
 - ・ 平成 19 年度～21 年度 橋りょう実施設計・整備工事

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19～21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
路線整備率(%)	—	44.0	56.0	84.0	100		100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19～21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
	64,000		64,000	75,000	140,000		279,000

■右左口 2451 号線整備事業 【事業No.05050107】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

●本路線は、市道間をつなぐ重要路線であり、改良整備を行う中で車両及び歩行者の交通安全性・快適性の確保を図る。

現況と課題

●地域住民と工事施工時期等について充分協議し、事業着手する必要がある。

今後の事業展開

●平成 21 年度完成を目指し計画的に事業推進を図る。
・平成 19 年度～21 年度 整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19～21)
			平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
路線整備率(%)	—	—	22.7	77.3	100	100
事業費 (千円)	6 月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19～21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	20,084		20,000	45,000	25,000	

■国玉通り線整備事業 【事業No.05050108】	担当部課係名	都市	都市整備課	ダイヤル	223-7055
		建設部	工事係		

事業概要

●本路線は、市道 630 号線（通称青沼通り）と都市計画街路和戸竜王線を南北に結ぶ延長 760m 幅員 16m の道路で、市東部地域において非常に投資効果の高い路線であることから、歩車道を一体的に整備し車両及び歩行者の交通安全性・快適性の確保を図る。

現況と課題

●用地取得については、地権者に理解を求めながら平成 20 年度までに全ての取得を完了し、残り工事延長 470m については平成 21 年度に施工し全面供用を目指す。

今後の事業展開

●平成 21 年度完成を目指し計画的に事業推進を図る。
・平成 19 年度～21 年度 用地買収、物件移転補償、整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19～21)
			平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
進捗度(%)	—	9.7	16.9	56.0	100	100
事業費 (千円)	6 月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19～21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	0		29,600	60,000	280,000	

03 道路の維持・管理

■生活基幹道路整備事業 【事業No.05050301】	担当部課係名	都市	道路河川課	ダイヤル	237- 5843
		建設部	道路係		

事業概要

- 生活基幹道路に設置されている金川曾根隧道の老朽化に伴い、補修工事に必要な調査を行い補修のための設計・施工を実施する。

現況と課題

- 今後、補修工事に至った時の施工方法、費用分担における笛吹市との合意。

今後の事業展開

- 道路（トンネル）の安全性及び耐用年数を確保するため事業を推進する。

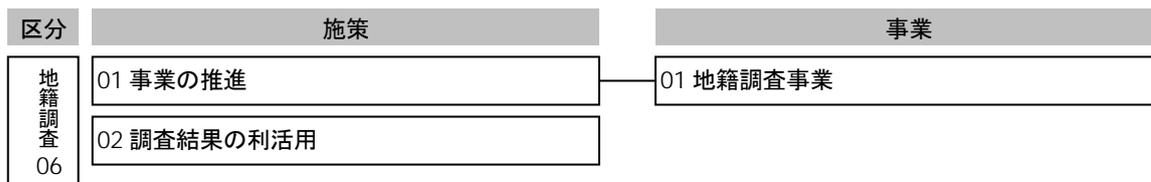
成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
進捗率(%) (実施/計画)	—	100	100	100	—	—	100	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)	
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	6,470		4,300	90,000	—	—		94,300

6 地籍調査

施策の基本的考え方

- 地権者及び推進委員等の理解と協力を深め、調査体制の強化に努めます。
- 調査結果を生きた情報として幅広い活用に努めます。

施策・事業の体系



01 事業の推進

■地籍調査事業 【事業No.05060101】	担当部課係名	都市	地籍調査課	ダイヤル	223-6103
		建設部	地籍調査係		

事業概要

- 一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、地籍の明確化を図る。調査の成果は、個人の取引から公的機関による地域の整備まで、土地に関するあらゆる行為のための基礎データとなる。

現況と課題

- 市街区域に入り土地の権利関係等、地権者間の複雑な問題が多く、これらの問題解決に時間を要する。

今後の事業展開

- 事業計画に基づき、外部委託のさらなる活用を踏まえ、迅速かつ確かな事業進捗を図る。市民からの早期実施の要望が高く、また災害復旧等を行う場合にも、土地データとして必要である。

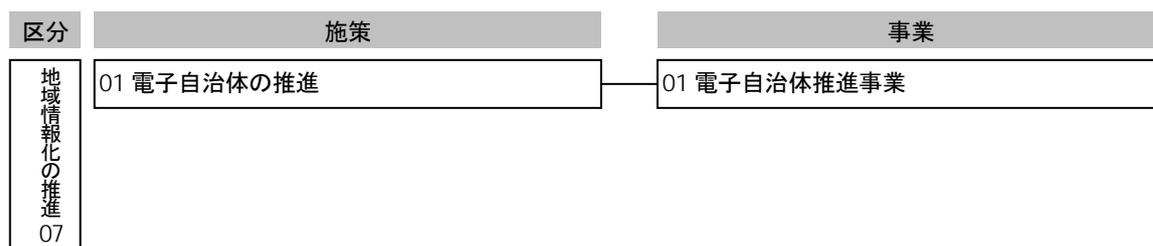
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
			平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
事業進捗率(%)	34.29	40.54	41.37	42.05	43.10	43.10
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	87,558		80,328	66,399	94,364	

7 電子自治体の推進

施策の基本的考え方

- 地域情報化計画*に基づき、情報通信技術（IT）*を活用した簡素で効率的な行政運営を図るとともに、市民の視点に立った、質の高いサービスを提供します。
また、ITの利活用を通じて地域の持続的な発展に寄与します。

施策・事業の体系



01 電子自治体の推進

■電子自治体推進事業 【事業No.05070101】	担当部課係名	企画部	情報政策課	タヤルイン	237-5214
			情報企画係・情報推進係・ 情報管理系		

事業概要

- 地域情報化計画*に基づき、情報通信技術（IT）*を活用した簡素で効率的な行政運営を図るとともに、市民の立場に立った質の高いサービスを提供する。特に電子自治体*の構築を通じて、庁内においては、個別システムの完成度を高めるばかりでなく、全てのシステムにおける全体最適化を進めるとともに、地域全体として、地元IT産業の育成を目指すものである。

現況と課題

- 小型システム（オープンシステム）の採用。支払いの平準化。現行経費の20%から30%を削減。災害時の安全性・安定性の確保。必要時における可用性。プロジェクト管理。

今後の事業展開

- スケジュールの管理及び10年間の運用を見込んだIT-PFI*方式の採用に伴うプロジェクトマネジメント

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
基本計画策定	—	策定済	—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)			
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度				
	38,000		19,648	19,000	19,000	57,648			